



きょうされん
千葉支部会報

2015 年 3 月号

千の葉通信



発行 きょうされん千葉支部事務局 広報委員会

2015年2月27日

第38次国会請願署名・募金活動

きょうされん本部では、昨年11月より第38次国会請願署名・街頭募金活動を行っております。この動きに伴い、千葉支部事務局では支部会員の皆様、各友好団体へ署名用紙の配布と依頼活動を行っております。署名・募金は4月末まで受け付けますので、一人でも多くの方に広めていただくようお願い致します。

5月28日には、この署名を持って国会へ赴き、千葉県選出の各議員の元へ請願行動を行ないます。各会員の皆様にも多大なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2月27日までの到達点

署名総数

780筆

募金総額

22,780円

38次の取り組み

2014年11月

●請願署名・募金行動開始

2014年12月

- 新宿での「関東ブロックがんばるディ」に参加
- 千葉駅前にて、「千葉支部がんばるディ」を実施
- 友好団体および米本団地自治会へ署名の依頼

2015年5月

- 千葉県中央メーデーに参加し、署名・募金の呼びかけを予定

今年の全国大会は兵庫で開催されます

阪神淡路大震災から20年の今年、38回目のきょうされん全国大会が兵庫県で開催されます。

大会スローガン

とどけたい20年のありがとう

わすれない震災を

つたえよう私たちの今を

未来につなぐ権利条約と平和

きょうされん

第38回全国大会 in ひょうご

日時 10月9日(金)・10日(土)

詳細は兵庫大会のブログをご覧ください
blog: <http://ameblo.jp/hyoqosibu/>



第2回支部事務局長会議 要旨報告

きょうされん千葉支部事務局長 額建史

来年度からの障害福祉サービス報酬、実質マイナス額を提示

来年度からの障害福祉サービスの報酬改定について、1月7日付の朝日新聞朝刊でマイナス1%と報じられた。きょうされんをはじめ障害関係団体や各地から要望・申し入れが行なわれ、これらを受けた諸政党からも政府に働きかけ等が行なわれてきた。こうした動きを背景に財務省と厚労省の折衝が進められ、その結果として報酬額は「据え置き」になったと報じられている。

しかし、職員給与の改善費分（職員処遇改善費）の充当や消費税増税等による物価上昇によって、報酬額は実際には2~4%程度の減額となると言われている。

生活保護費も住宅費や冬季加算を減額へ

厚労省は、生活保護制度の家賃として支払う「住宅扶助」について来年度から引き下げると発表した。これらの激変緩和措置や年度途中の7月施行によって来年度は約30億円減額し、2017年度には今年度と比べ約190億円を減額する。また、冬季の光熱費などに充てる「冬季加算」も、来年度から約30億円引き下げるとしている。

生活保護制度は、食費など生活費に充てる「生活扶助」を、ここ2ヵ年続けて引き下げ、来年度もさらに約260億円減額することが既に決まっている。これらを合わせると、計約320億円が来年度だけで減額されることになる。これに物価上昇分を合わせみると、大幅な実質減額となっていく。

障害者総合支援法の見直しに向けて意見表明

きょうされんは、「障害者総合支援法3年後見直しに当たっての意見」を厚生労働省において表明した。社会保障審議会障害者部会に設けられた「障害福祉サービスの在り方等に関する論点整理のためのワーキンググループ」のヒアリングにおいて発表したものである。この日は、きょうされんを含め10団体が意見を表明した。

赤松常務理事は、障害者権利条約の観点から意見を述べ、2011年に総合福祉部会がまとめた総合福祉法の「骨格提言」と、障害者自立支援法違憲訴訟団と国(厚生労働省)による「基本合意」を具体化する立場で行なうべきと要望した。

【主な意見】

- ・ 常時介護を要する障害者等への支援の在り方として、パーソナルアシスタンス制度の創設に道を開く。
- ・ 移動支援について、既に個別給付に位置付くものについても、通勤及び通学のために利用できるようにする必要がある。
- ・ 就労支援の事業体系見直しに向け、骨格提言が示す試行事業の実施や賃金補填と所得保障制度の在り方の検討等に着手する必要がある。その際、就労実態に関する調査を実施すべき。
- ・ 当面、現行事業体系において、就労継続支援A型事業の短時間減算の見直し、就労継続支援B型利用希望者は本人の意志を尊重し利用を可能にする、地域活動支援センターの個別給付事業化、残された小規模作業所の法内事業化を促進する。
- ・ その他、障害に伴う必要な支援は原則無償化、利用者負担算定の収入認定対象から配偶者を除外する、常勤換算方式の廃止、報酬日払い方式を見直し基本報酬の抜本的引き上げを図る。
- ・ 障害支援区分認定を含む支給決定の在り方について、支援者を含む本人及び市町村による協議調整に基づく支給決定の仕組みを新たに導入する。

安永健太さん死亡事件・訴訟報告および支援運動

・安永さん死亡事件の徹底審理を求めて新聞広告掲載

2007年9月、自宅に帰る途中、数人の警察官に取り押さえられて命を失った佐賀市在住の安永健太さん。いつも通り夕方に自転車で帰ろうとしていたのに、知的障害があった彼がなぜ命を失わなければならなかったのか、現在、民事訴訟として福岡高等裁判所で争っている。

2014年11月25日の西日本新聞（福岡中心に九州7県76万部販売）朝刊の社会面には徹底した審理と公正な判断を求めて新聞広告が大きく掲載された。稲川淳二さんや細川元首相夫人の細川佳代子さんなどの応援も得て著名人の賛同も広がり、反響が大きくなっている。

・「注意義務の違反ではないのか」

第2準備書面にて、保護行為を執行する前の注意義務に違反している反論を明確にしたことが、民事一審、刑事裁判で争点とならなかった「注意義務違反」を、今回争点として福岡高裁が採用したことに繋がった。これがターニングポイントとなる。4月20日に警察官の証人尋問が行われる。

福岡高裁に適正な判断を求める署名は、1ヶ月間で約3万筆が集まっている。引き続き、福岡高裁への適正な判断を求める署名と、支援募金運動を継続する。

賛助会員拡大の取り組み

今年度は全国各地で36,549口にまで賛助会員の輪を広げようと取り組んできた。昨年度までの賛助会員の皆さんに加えて、新たに賛助会員を3,600口以上増やすことになる。目標までにはまだ足りない。「誰に声をかけたらいいかわからない」という声もあるが、身近なところに実はたくさん。事業所の後援会の皆さん、取引先の業者や行政関係の皆さん、そして国会請願に協力してくれている皆さんなど、こうして見渡すと対象はたくさんいることがわかる。すでに年度末に差し掛かっているので、声を掛けるなら今しかない。

年明けに報道された「報酬単価引き下げか!？」という問題に、きょうされんはすぐに「引き上げるべき」との緊急アクションを各地から行なった。事業所の利用者の立場に立って、誰にも気兼ねなくすぐにアクションを起こすのも、わたしたちが自主財源により運営されているからである。応援団を大きく広げていくために力を尽くしていきましょう。

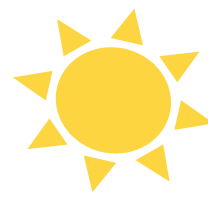
新潟で精神障害者の院内居宅発足

精神科病棟を住まいと言い換えるための施策を強行しようとする厚生労働省。名称は「地域移行支援型ホーム」。省令改悪による病院敷地内グループホームの新設である。

また、1月27日に閣議決定された「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」では、直前まで地域包括ケア中心で議論がまとまっていた当初案が、認知症の人を精神科病院へ入院を進める精神医療関与強化へと変質した。

就労継続支援A型事業所全国協議会が結成

現在、就労継続支援A型事業所が急増している。きょうされんも実践上の期待にどう応えられるのか。一致部分は提携し、悪い部分は駆逐するということで取り組んでいく。



会員施設取材レポート

— 就労生活支援センター トライアングル西千葉

千葉支部会員の施設へ事務局員が訪問し、施設のいろんな話を伺います。
第三回目は、広報委員会の並木が所属する「トライアングル西千葉」の紹介です。

特定非営利活動法人 トライアングル西千葉

〒263-0043

千葉市稲毛区小仲台2-6-1 京成稲毛ビル205号

TEL: 043-206-7101

URL: http://www9.plala.or.jp/triangle_nishi/

トライアングル西千葉の事業は4つ。小規模作業所からスタートし、移行を重ねて就労継続支援B型となった就労生活支援センター。パソコンを使った創作活動や操作方法の講習を行なう地域活動支援センター。千葉県立障害者高等技術専門学校から委託を受けている職業訓練（パソコン技能習得コース）。視覚障害の利用者が施術を行なうマッサージ治療院を運営する就労継続支援A型。

— 「就労生活支援センター」施設長の浜畑力也さんにお話を伺いました。

「トライアングル」の意味するところ

トライアングルとは、ご存知の通り三角形の事です。この三角形に、「指導員・通所員・ボランティア」という意味と、「自分・未来・社会」という意味を込めています。

日々の活動

就労継続支援B型の利用者さんは現在26名で、平日の10時から16時まで毎日作業を頑張っています。主に業者さんからの仕事を受注する作業が中心で、販売会等で売る製品作りにも力を入れております。

受注作業では、地域密着型フリーペーパーのチラシ折込み作業が特に大きな仕事です。この仕事をいただいた当初と比べ現在では10倍以上にも及ぶ数を1日で仕上げています。利用者さんが力を伸ばしたことで、ボランティアさんに多大なご協力をいただいていること、職員は準備段階から入念に行ない作業の効率化を図ってきたこと、その三点の成果と言える結果だと思います。

製品作りでは、いただいた布から作る「布ぞうり」や毎日新聞の点字版「点字毎日」から作るエコバッグ「点・点バッグ」は特に看板商品となっています。ご購入していただいた方々からはお陰様で「デザインや質感が良い」「丁寧に仕上げてある」等々の評価をいただき、製作に携わる利用者と職員の励みとなっています。

製品作りにおいても受注作業においても、仕上がりの確認と納期の厳守、利用者本人の自主性を重んじた支援を心がけています。

千葉県の「きょうされん」活動拠点として

きょうされん千葉支部の事務局を置く事業所として、様々な活動に積極的に取り組んでいます。職員が事務局に入り、就労Bでの業務と平行して事務局員としての業務も行なっています。きょうされんが実施する街頭署名や集会、全国大会への参加、各部会の会議にも出席しています。

きょうされんの事業活動では、年数回の販売事業があります。この販売での売上は一部が事業所に還元される仕組みとなっています。この販売活動をご家族や関係者等に広め、商品を買っていただき、還元金を利用者さんのお給料の一部としてお支払いするという取り組みも行なっています。

相手と同じ視点で

社会福祉関連の予算削減や社会福祉法人のあり方等、日々のニュースに取り上げられることも多いのですが、「福祉は権利」であるということ、障害者権利条約の中で30数回もキーワードとして出てくる「他の者との平等」ということなど、障害者の支援事業所で働いている私たちはもっと意識し、利用者の支援のように相手と同じ視点で考え、そして運動していくことが必要ではないかと思っています。

活動内容の紹介



点・点バッグの製作過程。
障害特性や能力に応じて、パーツごとに担当者を分けて製作を行なう。

「生産体制の確保、人材育成、品質の向上など多くの課題を抱えながらも、『福祉施設の製品だから』といった認識ではなく、ひとつの商品として価値のあるものにできるよう、作業に携わる人間がそれぞれの役割を認識し、お互いに切磋琢磨しながら一つ一つ丁寧に作っている。

今では、大口の注文にも対応できるようになった。福祉関係者のみならず一般の方々からの問合せや注文をいただくようになり、少しずつではあるが手応えを感じられるようになった。

今後はさらに多くの方々に点・点バッグを知ってもらえるような方法を考え実践していくことが目標。」と担当職員の方が話してくれた。



押し花を施したものが特に好評

千葉県障害者就労事業振興センター主催の「はーとふるメッセ実りの集い2012」にて、テレビ朝日福祉文化事業団大賞を受賞したことでもさらに人気を得た。



布ぞうりも、製作を担当する利用者・職員のこだわりが随所に見られる仕上がり

事務局だより

Schedule

- 3月19日(木) 事務局会議
NPO法人トライアングル西千葉にて開催
- 3月29日(日) 運営委員会
NPO法人トライアングル西千葉にて開催
- 4月16日(木) 事務局会議
NPO法人トライアングル西千葉にて開催
- 4月26日(日) 運営委員会
開催場所検討中
- 5月17日(日) 支部総会
開催場所検討中

Announcement

第8回きょうされん千葉支部総会 開催案内

日時 5月17日(日) 13時30分～16時30分
会場 千葉市中央コミュニティセンター 5階音楽室2

「障害のある人の生活実態調査」を実施します

2015年度において全支部で一斉調査を行ないます。
概要や日程等は決まり次第改めてお知らせします。

あどがき

3月を迎え、観梅の時期となります。

成田山新勝寺本堂の裏手にある成田山公園も梅の名所として知られています。2月21日より「成田の梅まつり」が始まり、たくさんの紅梅や白梅が目を楽しませてくれます。

3月は「弥生」という別名がよく知られていますが、「花見月」という別名もあるそうで、梅、桜、桃、李と次々に咲く花に見合った名だと思います。

花見という酒が付き物ではありますが、花を見ながら和菓子を食べてまったりと日本茶を飲む、そんな楽しみ方もいいと思います。

(広報委員会 並木)

“障害のある仲間たちの応援団”とは、きょうされん賛助会員の皆さんです。

長年応援してくださっている方、新しく応援団に加わった方、たくさんの方がいらっしゃいます。お知

“障害のある仲間たちの応援団”になろう

り合いの方や地域の皆さんにも賛助会員に入会していただき、みんなで障害のある仲間たちを応援していきましょう。

詳しくは千葉支部事務局へお問い合わせください。

“言の葉”募集

きょうされん千葉支部会報「千の葉通信」をお読みいただき、ありがとうございます。

「千の葉通信」を読んで、どんなことを思いましたか？皆さんが思ったこと、考えたことをお聞かせください。皆さんの“言の葉”を、これからの支部活動、会報作りに活かしたいと思います。

メールでお寄せください

E-Mail: koto-no-ha@kyousaren-chiba.com

きょうされんネットショッピングモール

TOMO市

全国の障害のある人たちが働いている作業所が出店しています。

「安心」「安全」「手作り」を大切にして、オリジナルの商品や地域の特性を活かした地元企業とのコラボレーション商品を販売しています。

お問い合わせ先

お気軽にお問い合わせください。

きょうされん千葉支部

〒263-0043

千葉市稲毛区小仲台2-6-1 京成稲毛ビル205号

トライアングル西千葉内

TEL: 043-206-7101 FAX: 043-207-7153

E-Mail: contact@kyousaren-chiba.com

Web: www.kyousaren-chiba.com